

「桜を見る会」前夜祭問題の徹底究明を求める意見書

安倍晋三前首相の後援会が、地元支持者らを招いて開いた「桜を見る会」前夜祭をめぐり、安倍前首相側がホテルに支払った費用の一部を補填していたとされる問題で、首相在任中の安倍氏の国会答弁が「虚偽」ではないかとの疑惑が再燃している。11月27日に公表された同氏関連の6政治団体の2019年度分の政治資金収支報告書には、前夜祭に関わる収支が記載されていないことが明らかとなった。また、安倍前首相の秘書らは東京地検特捜部に補填を認めたと報じられており、政治資金収支報告書は疑惑発覚から半年以上たった2020年5月に提出されている。

安倍前首相は国会答弁で、前夜祭について「すべての費用は参加者の自己負担で支払われており、安倍事務所や安倍晋三後援会としての収入や支出は一切ない」と主張し、収支報告書に記載する必要はないと説明してきた。

共同通信が12月5～6日に行った世論調査では、「桜を見る会」前夜祭での参加費補填の疑惑をめぐり安倍前首相の説明に「納得できない」が77.4%（「納得できる」は14.7%）に上り、読売新聞の同様の調査（12月4～6日）では、安倍前首相が「説明すべきだ」は72%（「その必要はない」は24%）となっている。このような国民の説明責任を求める声に、安倍前首相は応えるべきである。

よって、町田市議会は、安倍前首相の国会における証人喚問と、「桜を見る会」前夜祭問題の徹底究明を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。